



## 21世紀的言語教育の課題 ー複言語能力の育成についてー

2009年3月14日  
京都外国語大学特色GPフォーラム

慶應義塾大学経済学部  
慶應義塾大学外国語教育研究センター  
境 一三



## 目次

- 自己紹介
- 日本社会の現状と教育の乖離
- 実態としての多言語社会
- 「多言語」vs.「複言語」
- 欧州の二言語教育
- 複言語能力養成の必要性
- 大学における言語教育の課題



## 自己紹介

- 経済学部ドイツ語教員
- 慶應義塾大学外国語教育研究センター
- 「行動中心複言語学習プロジェクト」
- エッセン大学英語英文科客員研究員（2002年度）



## 日本社会の現状と教育の乖離

- 社会の変化に対応できない言語教育
  - 長期的展望に立った教育理念の不在
  - 明確な話者像の不在
  - 言語政策の不在
  - 言語教育政策の不在



## 日本社会の急速な多言語化

- 近隣アジア諸国や南米からの労働力流入
  - 同じコミュニティーの仲間としての外国語話者たち
  - 小学校などで日本語を母語としない生徒の増加
- 地方自治体での住民サービス
  - 神奈川県庁のホームページは10言語
- 母語・継承語とアイデンティティー



## 多言語社会は「当たり前」

- 日本が単一言語社会という幻想
  - アイヌ、琉球語 etc.
  - Old Comers & New Comers
- 世界のほとんどの地域は多言語
- 世界の大多数の人間は複数言語話者

## 複言語という概念

- multilingual 「多言語」
- plurilingual 「複言語」
- 欧州評議会の言語（教育）政策
  - Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) 2001.（日本語版2004年）
  - 戦争の歴史の克服
  - 市場統合と労働力の自由な移動（相対的な経済力の強化）
  - 個別文化とアイデンティティーの重視
  - 母語話者モデル神話の否定
- 欧州における 1 + 2 言語政策

## 欧州の二言語教育の実態（2006年）

- 二言語教育とは何か？
- パリの仏英二言語校  
Ecole Active Bilingue Jeannine Manuel
  - 1年生から日本語（現在は中国語）
  - 4年生から別の外国語
- ベルリンのヨーロッパ学校
  - 英、仏、露、伊、西、トルコ、ギリシャ、ポーランド、ポルトガル
  - 3校を視察



## 授業の具体例

- ドイツ語トルコ語校（中学・高校）：歴史の授業をトルコ語で
  - 7年生：三圃制の話
  - 11年生：宗教改革の話
- ドイツ語フランス語校（小学校）
  - 担任二人制（ドイツ語教員とフランス語教員）：二つの文化の橋渡しのために、協同で担当する授業もある。
  - フランス人保育士（学童保育も組み込まれている）
  - 子供は事実上三人の担任を持つことになる。



## 二言語教育はうまくいっているか？

- 早期外国語教育に否定的な時代はあったが、今日ではおおむね肯定されている。
- 二言語教育を受けている子供たちは、一般的に成績は上。（さまざまな理由がある）

## なぜ日本で複言語能力の養成が必要なのか？

- 多言語・多文化共生社会の実現
  - 京都外大のモットー：Pax Mundi per Linguas（言語を通して世界の平和を）
- 独立国の市民（リーダー）として適切な判断を下す能力を養成する
- 異なるものを知る喜び（生涯学習のモーター）

## 多言語・多文化共生社会の実現

- 日本社会内における異文化・異言語との直接コンタクトと共生
  - 取り込み型から新たなアイデンティティ形成へ（マジョリティーが自らを開き変化する）
- 日本社会外における異文化・異言語との直接コンタクト
  - 英語だけでは通り一遍の付き合いしかできない。
  - 友達ができると、相手の文化、地域をよりよく知ろうと思う≠敵対的關係
- 平和な世界の構築



## 独立国のリーダーを養成する

- 英語で得られる知識には限界がある。
- 英語以外の情報ソースを持つことは、不可欠である。
- 日本（国家、自治体、企業など）にとって、英米系の情報だけで判断することは極めて危険。
  - 報道には強く英米バイアスが見られる



## 異なるものを知る喜び

- 人間は知ることを欲する動物
- 新しい言語・文化・ものの考え方に接するのは楽しい！
- 継続学習のモーター

## 英語を学ぶとバカになる？

- 英語をいかに相対化するか
  - 薬師院仁志（2005）『英語を学べばバカになる グローバル思考という妄想』
- 英語しか学ばないとバカになる。
- 複数言語の学習による相対化
  - 複数の言語を学ぶと、前に学んだ言語がよりよく分かるようになる。
  - 二つの言語を同時に学ぶと、それぞれがよりよく分かるようになる。

## 大学における言語教育の課題

- 独立国の市民（リーダー）として適切な判断を下す能力を養成する
- 英語＋1ないし2言語
- できればアジア言語を含める
- 英語教育の目標
  - 「英語を学ぶ」から「英語で学ぶ」
  - コンテンツ中心
  - 行動中心課題解決型学習





## 大学における言語教育の課題

- 英語以外の言語教育の目標
  - いかにか高付加価値化を図るか→高い目標設定が必要
  - 高度なアウトプットがなければ社会的に認知されない
  - 初習外国語は実は「初習」ではない
- 諸言語教育の一体化
  - 二言語同時学習は一つの方策



## ありがとうございました！

- [skazumi@hc.cc.keio.ac.jp](mailto:skazumi@hc.cc.keio.ac.jp)
- <http://web.hc.keio.ac.jp/~skazumi/>